

循環型酪農、カフェも開店

熊谷市 ブルーバンブーファーム

【埼玉】熊谷市の㈱ブルーバンブーファーム代表取締役社長の青木大輔さん（48）、美保さん（48）夫妻、弟の洋介さん（44）、優子さん（42）夫妻は、父母と酪農で乳牛58頭を飼育し、飼料作物や麦も44畝栽培している。

牧場経営は大輔さんで3代目。「牛づくり・草づくり・土づくりの徹底」を経営理念に2016年に法人化し、良質な生乳を生産する循環型酪農を確立した。

昨年8月、生乳を使ったジェラートを販売するカフェを牧場に併設してオープン。お客さんは牧場を眺めながらゆったりとした時間を楽しめる。

ジェラートはミルクやピスタチオ、ティラミスなど約12種

類。「最後の盛り付けでコアパウダーをかけるなど、ひと手間加えて提供するのがこだわり」と美保さん。週ごとにジェラートメニューが入れ替わり、毎週違った味が楽しめる。

カフェ運営を担う美保さんと優子さんは「カフェの移動販売や、いろいろな季節の果物を使ったジェラートの提供もしてみたい」と湧き出るアイデアを語り、「よりよい牧場とカフェにしていきたい」と笑顔で話す。



右から青木大輔さん、妻の美保さん、洋介さんの妻の優子さん、弟の洋介さん